

Science Conference in Hyogo

令和5年7月16日

猛暑日となった今日、第9回となる Science Conference in Hyogo を神戸大学百年記念館で開催しました。このイベントは、県内のSSH指定校が連携し実施している兵庫「咲いテク」事業の一環で、SSH で取り組んでいる課題研究の成果を参加者する生徒、高校教員、ALT、大学関係者などに対して、英語でポスター発表及び質疑応答し、英語で議論することのスキルを身につけることをねらいとしています。会場をご提供いただいた神戸大学には、お礼を申し上げます。

今年度は、神戸大学大学院助教の藍原祥子先生から「Can we explain ‘Tasty’ ?」と題した講演（もちろん英語です）と18高校、1団体から38のグループがポスター発表しました。後半には、神戸大学生と高校生が大学での研究の様子や生活について、気楽に会話する Science Café もあわせて開催しました。

英語で日常会話と議論をすることは難しさは相当異なるようです。様々な経験をこれからの学ぶ意欲につなげてほしいです。

神大生による Science Cafe

